

おおさかの学童保育

ウェブ通信 1号

2023年5月18日

大阪市中央区

谷町7丁目2-2-202

TEL06-6763-4381

FAX06-6763-3593

大阪学童保育連絡協議会



ようこそ 学童保育へ

みなさまこんにちは。

大阪学童保育連絡協議会です。

私たちは、「必要な子どもが、どの子ども安心して通い続けられる豊かな学童保育」をめざす保護者と指導員等による団体です。今年度よりウェブ通信を発行することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

新入所の子どもさん、保護者のみなさんを仲間にむかえ、各地の学童保育はどんな様子でしょうか？みんなが安心できるように…4月らしい生活場面を届けていただきました。

ドキドキをほぐし

笑顔になれるように

新年度を迎える朝、「今日から1年生くる～？」「一緒に何して遊ぼうかな？」と楽しみに待っている子ども達。そんな中、緊張した表情でお母さん・お父さんの後ろに少し隠れながら学童にやってきた1年生達。

「おはよう。靴はここやで！」新2年以上の子どもたちはやさしく声をかけ、部屋の中に連れて行って、学童に来てからの流れを進んで教えています。

自分たちが1年生だったころに上の学年の子どもから教えてもらった事を次は下の子へ。緊張した表情の1年生と保護者の前で「私も1年生の最初泣いて入れへんかったで！でも大丈夫！」と声をかけている上の子も。1年生も最初は少し圧倒されるものの、すぐに雰囲気慣れてきます。それは、子ども達の自然な関わり方のお

かげだといつも感動します。子どもの力は凄いですね。

学童クラブでは、年度初めに全員で輪になって座り自己紹介をします。

学年・名前・小学校名※・呼んでほしい呼び方をみんなの前で発表。そこで1年生の横についているのは5・6年生です。緊張している1年生に「名前は？どこの小学校に行く？」と1年生が答えやすいように声をかけています。新年度から急に成長したような上級生たちの姿が見られるのも学童保育ではうれしい事です。

「焼きそば」いっしょにつくろか

その日は、上の子と下の子がペアになり、自分たちのお昼ご飯の「焼きそば」を作ります。

材料は6年生が切り分けて、作り方も6年生の子が全体に説明。ここでも、指導員が前に立つのではなく、あくまでもリーダーは6年生。

平日は、学校が終わる時間も違うので、低学年・高学年が関わり合う時間を多く取ることができません。この春休みの活動は「子どもたち同士の最初の関係づくり」「それぞれの学年の子どもたちが1つ上の学年に上がった実感を感じてほしい」。そんな指導員の思いがありました。



子どもや学童保育をめぐる動き

こども家庭庁、スタート

4月、国では「こども家庭庁」が発足しました。

<https://www.cfa.go.jp/>

今、日本の子どもたちの育つ環境、保護者の子育て環境の大変さは報道もされていますが、実感も多いことと思います。学童保育の整備のおくれや課題もその一つです。

学童保育の担当所管はこれから、内閣府こども家庭庁「成育環境課」になります。学童保育の充実が進められるとともに、すべての子どもたちによりよい環境がつけられるよう、「こどもまんなか社会」の実現にむけて、子どもの声を聞き、保護者・指導員のねがいを出しあっていきましょう。

6月は、全国学童保育連絡協議会から国へ

7月は、大阪学童保育連絡協議会から府へ学童保育の充実を求める要望書を届けます。各地域から出されている困りごとや要望などをまとめていきます。

いざ！ペアに別れて調理スタート。調理中は、上の学年の子が下の子に少し気を遣いながら「これできる？」「熱いから気をつけてな」「味見してみようか」と声をかけている姿、「おいしいな」と自分たちで作ったご飯を食べている姿が印象的でした。

子どもの育ちを共に感じながら

いろんな不安や期待を抱えて学童生活がスタートした4月。子どもだけでなく保護者の方も学童の前に着くとなかなか離れない我が子を見て心配になっている様子もありました。

これから様々な活動を通して「学童っ子」になっていく子どもたちの様子を保護者・指導員で共に感じながら、6年間を過ごしていってもらえるように頑張っていきたいです。

(大阪市・指導員：12年目)

*大阪市の学童保育は、保護者会運営で、学校外の地域の中に施設を借りて指導員を雇用し実施されています。複数校区から通ってくる学童保育もあります。

*次号、保護者の記事を掲載予定です。



—おしらせ—

◎ホームページのトラブルのため、規約をはじめ、情報やお知らせは下記に掲載しています。

<https://osakagakudou.com/blog/>

第54回定期総会を開催－3つの重点視点

大阪学童保育連絡協議会（略称：大阪学保協）は、1～6年生までの必要とするすべての子どもが入所でき通い続けられる学童保育の整備と、どの子どもも安心・安全で豊かに育ちあえる学童保育の内容充実を求めて活動をしています。4月29日、第54回定期総会を開催し、2023年度は「3つの重点視点」のもと方針を確認しました。

〈2023年度活動方針の3つの重点視点〉

1. **子どもの声が聴かれ、子どもとともに作る、学童保育・子ども施策をめざします。**
2. **待機児童、大規模・つめこみ、質の課題を解消し、必要な子どもが安全に安心して通える学童保育の整備と指導員の確保・向上を求めます。**
3. **子どもにとってよりよい環境になるために、つながり支え合う保護者会・連絡協議会をめざします。**

